

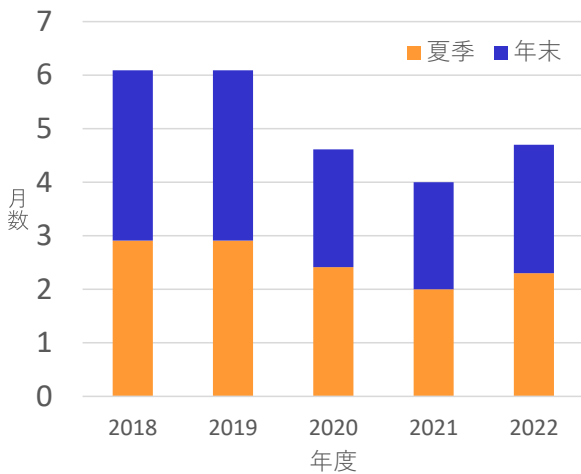
ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

## 手当削減反対！ 大幅賃上げを！

### JR東日本 年末手当回答 2・4ヶ月+2万円

#### JR東日本 2022年度 年末手当に関する回答 (11/11)

- 基準額：基準内賃金の2・4ヶ月分 + 2万円(エルダー社員も同様)
- 支払日：2022年12月5日



一つのストや一つの産業での闘いが、次のストや別の産業での闘いにつながっています。そして、多くの賃上げや労働条件改善をかちとっています。職場に必要なのは闘う労働組合です。

医療・介護、空港や鉄道、港湾、石油やガス会社など様々な業種で大規模なストが行われ、労働組合がなかった職場でも組合を次々に結成しています。

一方、JR東日本は今年第2四半期決算は546億円の黒字、今年度末には1千億の黒字を見込んでいます。本来なら

世界中で物価が高騰する中、多くの国々で全国的なストライキやデモが闘われています。大幅賃上げや、深刻な要員不足で悪化した労働条件の改善を求めるものです。

激しい物価高—大幅賃上げ必要

食料品や光熱費、ガソリン代などで値上げが続く、世論調査では「生活への負担を感じる」は73%にもなり今年の中でも最高を記録しています。

11月11日、JR東日本は22年度の年末手当について「2・4ヶ月+2万円」の回答を行いました。昨年より「0・4ヶ月+2万円」増とされていますが、コロナ前と比較すると大幅な削減が続いています。

#### 世界中で賃上げ求めストやデモ

ば大幅な賃上げが必要です。期末手当の大幅削減を続けるなど許せません。しかも会社は、「収益最大化と収益比率5:5の実現に向けて、統括センター設置、首都圏本部等の再編・合理化を急ピッチで進める」考えを示しています。鉄道も現場労働者もないがしろにして、収益最大化・合理化を優先するというあり方も認めることはできません。